

「楼英学園物語」(ゲーミング・シミュレーション型教材)を用いた 教育実践と評価-2

●実施時期：2014年3月

●対象者：高校生12名

●実施場所：茗溪学園高等学校 コンピュータ室

●教育プログラムの概要：

- (1) 「楼英学園物語」の概要を説明した後、1人1台のPCを使用して各自のペースで体験
- (2) 体験後、ワークシートに「楼英学園物語」自体に対する評価(内容、操作性など)と、今後気をつけようと思ったこと、自分がとった行動以外にどのような行動ができたかなどを記入
- (3) グループに分かれて、(2)の今後気をつけようと思ったこと、自分がとった行動以外にどのような行動ができたかなどについて発表
- (4) ワークシートに、(3)の発表を聞いて、気づいたことや考えたことを記入(まとめ)

●実践の結果

- (1) 「楼英学園物語」(ゲーミング・シミュレーション型教材)に対する評価
 - ・流れもよくて分かりやすくてすごくよかった
 - ・トータルの時間が長くも短くもなくよかった
 - ・主人公が加害者と被害者の間で判断に迷うところに共感できた
 - ・エンディングがリアルだった
 - ・ネットで情報が漏れるとどうなるのかが分かりやすかった
 - ・「悩み相談にアップ」する行動がこわいと思った
 - ・いきなり出会い系サイトが出てきて少しとまどった。教育用に使うなら、あまり生々しい表現にしなくてもよいのではないかと思った
 - ・前回よりも画面が見やすかった
- (2) どのような行動ができたかについて
 - ・自分の気持ちで答えるだけでは状況が悪化してしまうので、相手の気持ちを考えて行動する
 - ・アリスに直接自分がいやだと思うことをトモミに伝えるように言う

- ・アリスとトモミが真剣に話し合うようにすすめる
- ・被害者を自分たちのグループに入れる
- ・被害者の相談にのる
- ・日頃から気になる行動を注意する

(3) 今後気をつけようと思ったこと

- ・対人トラブルを止められるなら、穏やかに止めてみようと思った
- ・相談されているときには、あまり感情的にならず、相手の話を聞くように心がけたい
- ・悪口を聞いても誇張して広めないようにしようと思った
- ・問題があったら早い段階で大人に相談しようと思った
- ・ネットで相談しないようにしようと思った
- ・個人情報が出ないように友だちだけの限定公開にするなど SNS ではもっと気をつけようと思った
- ・むやみにブログに個人情報を書き込まないようにしようと思った
- ・個人の書き込みからその人の将来にまでかかわる結果になることが分かった

(4) 発表を聞いて気づいたこと・考えたこと

- ・早めに行動することが大切だと思った
- ・ちゃんと話し合うことが必要だと思った
- ・いじめられている子と話すタイミングがほしいと思った
- ・早めに大人に相談しようと思った
- ・親に相談すると面倒なことになるのではないかと思った
- ・学校で話し合う必要があると思った
- ・他のグループの仲裁に入ったり、自分で行動するのはかなり難しいのではないかと思った
- ・現実に起こったケンカやいじめなどの問題を、ネット上で解決しようとするのは間違っていると思った
- ・対人トラブルがおさまっても、ネットでの書き込みは止まらないことが分かった